

# 横浜市介護支援専門員連絡協議会 連絡協議会議事録

会議名	平成 30 年度 7 月 定例会		
開催日時	平成 30 年 7 月 20 日(金)	19:00~20:30	開催場所 横浜市社会福祉センター9 階
議 題	1	情報提供	
	2	各委員会及び他団体の協力委員報告	
	3	その他連絡事項	
	4	ブロック会議	
	5	ブロック会議の発表	

No	議 題	内 容
1	情報提供	<p>・「ケアマネジャーへの退院調整アンケート結果報告」 (医療局がん疾病対策課 保下係長)</p> <p>① 横浜市在宅療養移行支援事業は、「疾患を持ちながらも、在宅でその人らしく暮らすために、病院から在宅への移行期に、患者に関わる専門職種間での情報共有を円滑に進める」ために、「入院時・退院時情報共有ツール」を作成した。今年度は、「同ツールの改訂・在宅での看取りに対応した、病院・在宅医療・介護関係者がともに利用できる在宅での看取りに関する情報共有ツールを作成」する。 そのための検討委員会を立ち上げ(YCM からも委員を派遣)、研修会(平成 30 年 12 月 5 日(水)・神奈川公会堂にて)を開催する。</p> <p>② 退院調整に関する実態調査結果報告 目的: 患者が医療機関から在宅へ移行する際の、市内居宅介護支援事業所における、退院調整状況について実態を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院調整があった: 7 割 退院調整がなかった: 3 割</li> <li>・退院調整対象者の対象疾患 「骨折・関節症」「がん(末期)」「呼吸器疾患」が多い。</li> <li>・退院調整対象者の要介護度 要介護では 71% 要支援では「退院調整あり」の割合が低い。</li> <li>・退院調整対象者の多い医療機関 1 か月 16 件以上の医療機関は 15 医療機関で、最多は 43 件。</li> <li>・入院時退院時情報共有ツールについて 知っている: 70% 知らない: 27% 活用している: 26% 活用していない: 69%</li> <li>・入院時退院時情報共有ツールの活用方法 「入院時、医療機関との情報共有」「医療機関に提供する情報の内容」「退院時、医療機関との情報共有のために活用」「加算算定書類として活用」「退院後のスムーズな在宅生活移行のために活用」</li> </ul> <p>【活用していない理由】 情報共有ツールのことを十分に理解していなかった。 別の書類を使用している。 ツールに課題あり(文字が小さい・退院時の在宅への情報の不足・記入に時間がかかる・記入欄が狭い・慣れていない)。</p>

No	議 題	内 容
		<p>→保下係長より、「これらをもとに、改訂を進める。また、病院からは、「ケアマネジャーからの情報提供が増えている」との声がある。連携が進みつつあると認識している」とのこと。</p> <p>質疑応答(医療局は局、YCM は Y、と表記)</p> <p>Y:「国からも様式が出ているが、どうすれば良いか」</p> <p>→局:「どの様式を使っても構わない」</p> <p>Y:「ケアマネジャーへはアンケートをしているが、医療機関にはしているのか」</p> <p>→局:「医療機関にも何らかの方法で周知をはかっていく。今後さらに、医療と介護の風通しを良くしていきたいと考えている」</p> <p>・「在宅要介護者訪問歯科健診事業について」 (健康福祉局高齢在宅支援課 正木係長・北村氏)</p> <p>表記について、昨年度にモデル事業として実施した。今年度から本格的に開始する。</p> <p>目的:訪問歯科健診を行うことで、口腔機能の改善をはかるとともに口腔ケアの重要性の啓発を行い、対象者の低栄養防止及び重症化予防に繋げる。</p> <p>対象者:市内在住で歯科健診に行くことができない75歳以上で要介護3以上の方。現在、医療保険や介護保険において歯科に関する治療・管理を受けていない方。</p> <p>実施期間:平成30年9月1日から平成31年1月31日 先着550名</p> <p>費用:無料</p> <p>→上記の案内・紹介をお願いしたい。チラシ配布の協力を頂ける場合など、担当者へ連絡をお願いしたい(チラシは8月中旬に完成予定)。</p>
2	各委員会及び他団体の協力委員報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療連携委員会 特になし。</li> <li>・制度対策委員会 次回に報告予定。</li> <li>・広報委員会(松下氏) 協賛団体に、暑中見舞いを送付する。 サイボウズに入っていない区代表などがあるかの確認を行う。 →本日出席者の中ではなし。 YCM ホームページから、各区ケアマネ連絡会へリンクができるようにする。 各区の年度計画・活動状況などを、8月中旬に松下委員長にメールかサイボウズで報告をお願いしたい。本件はサイボウズでも周知する。</li> <li>・会計(佐藤氏) 今年度会費未納の区あり(鶴見区・金沢区・磯子区・都筑区・青葉区)。</li> <li>・事務局(原田氏) 特になし。</li> <li>・横浜市在宅療養連携推進協議会(小嶋氏) 8/31に協議会開催予定。</li> <li>・横浜市在宅療養移行支援事業検討会(洪氏) 7/23に第1回会合あり。</li> <li>・横浜市福祉有償移動サービス運営協議会(深井氏) 6月に第1回会議あり。8団体が更新し、3団体が新規で、引き継ぎを行う。</li> <li>・横浜市医療局体制整備検討会(加藤代表) エンディングノートの手前の段階での、ある程度元気な内の「もしも手帳」を作成している。本年秋頃に配布される予定。</li> <li>・横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会テーマ別検討会(角田氏) 7/31に開催予定。</li> </ul>

No	議 題	内 容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県介護支援専門員協会(加藤代表・兼武氏) 「事例で分かるケアマネジャーのトラブル手引き」を来年度以降の発行を目指して作成している。 本年度の主任ケアマネジャー更新研修の応募者が、定員よりも超過している。受講できない方が発生する見込み。 地域連携に関して、県協ホームページにアップされる。</li> <li>・横浜市認知症疾患医療センター認知症疾患医療連携協議会 西部:まだ開催連絡なし。 東部:現在内容をまとめている。</li> </ul>
3	その他連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月定例会は休会とする。次回は9/21(金)。</li> <li>・9/19(水)横浜市訪問介護合同研修「集まれかいごのチカラ PART2」開催 神奈川公会堂にて 250名定員 チラシ完成後(7/24頃を目安に完成予定)、サイボウズにアップするので、参加者は各区で取りまとめる。8/31申し込み締め切り。 第1部:寸劇 第2部:座談会(座長:原田氏・ケアマネ2名・サ責2名) →寸劇のキャストは、8/17(金)に事前練習を行う。</li> </ul>
4	ブロック会議	東西南北各ブロック毎に自由議題にて実施。
5	ブロック会議の発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部ブロック 各区での活動報告あり。金沢区では、「区役所・在宅医療相談室・包括・ケアマネ連絡会・病院」の共催で、入退院時のお互いの連携を深めるための交流会を行う予定。</li> <li>・西部ブロック 来年度総会について話し合う。基調講演講師・場所は未定だが、5月の第3週か第4週に実施する予定。 医療局との合同研修を開催する予定。</li> <li>・東部ブロック 各区の研修状況を聞く。 ブロック研修の実施を今後検討する。</li> <li>・北部ブロック ブロック長は渡會氏(都筑区) 9月研修のキャストは渡會氏 9月研修の手伝いは、緑区にて行う。 ブロック研修を行う方向で、場所なども含めて検討する。</li> </ul>

次回:30年9月21日(金)19時から  
横浜市社会福祉センターにて